

2017年度 JIA 杉並工曜学校 第2回

善福寺池

周辺の

旧井荻村

まち歩き」

2017年9月9日(土)
14:00～17:00

案内人: 鳥越けい子

青山学院大学総合文化政策学部教授

集合場所: 井草八幡宮境内の“頼朝公お手植えの松”

参加者: 一般の方(どなたでも)

定員: 50名(申込順)

参加費: 500円

懇親会: 17:00～18:00 会費1000円(軽食と飲物付)

主催: (公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 杉並地域会

後援: 杉並区・杉並建築会

2017年度のテーマ

成熟するまちと建築
く使い続けるために

「時間とともに、魅力を増す建築とまちであってほしい。」しかし、現実には必ずしもそのようにすまないことも多いのです。ひとびとに大切にされ、長く使い続けられる建築、まち、そして都市はどうしたら実現できるのでしょうか？近年、新しさや経済性など狭い範囲で捉えるのではなく、人間以外の生物たちや気候等への配慮等々多様な視点が求められる様になってきています。今年の土曜学校では、実際にまちを歩きながら「長く愛され成熟する建築とまち」の実現のために、私達にできることは何かを探ってみたいとおもいます。

『善福寺池周辺の旧井荻村まち歩き』

2017年度 JIA杉並土曜学校 第2回

鳥越けい子 (とりごえ けいこ) 青山学院大学総合文化政策学部教授

善福寺在住。日本各地の音文化の調査研究をおこないつつ「サウンドスケープ/音の風景」をテーマに、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用を視座に入れたまちづくり、環境をめぐるデザインから保全に至る各種のプロジェクトを手掛けている

〈当日予定〉

- 14:00~16:00 まち歩き
- 16:00~17:00 講演(井荻会館にて)
- 17:00~18:00 懇親会(")

〈まち歩きルート〉予定

井草八幡宮→善福寺→大和市神社→善福寺上池→市杵嶋神社→遅の井の滝→内田秀五郎翁像→善福寺下池→美濃山橋→同潤会の木造住宅→地藏坂上→トトロの樹→井荻会館

〈集合場所〉

井草八幡宮境内 “頼朝公お手植えの松”

荻窪駅(北口)0/1番乗場より「井草八幡宮」下車
西荻窪駅(北口)2番乗場・上石神井駅より「桃井第四小学校」下車
徒歩5分



杉並区立郷土博物館所蔵「レンズの記憶」図録掲載写真より転載

- 第1回(5月20日) 「建築家の本棚」+トークイベント「私の一冊」
- ▶ 第2回(9月9日) 「善福寺池周辺の旧井荻村まち歩き」
- 第3回(11月11-12日) 「東日本大震災被災地を巡る」(一泊旅行)
- 第4回(2月17日) 「浜田山のまちを歩こう」

※内容と日程は予定です

JIA杉並地域会

《申込方法》 件名を「JIA杉並土曜学校申込」とし、お名前、所属、人数、メールアドレス、電話番号、を明記の上お申し込み下さい e-mail: suginami@jia-kanto.org

※参加には事前申し込みが必要です。定員になり次第締め切らせて頂きます

《お問い合わせ先》 JIA杉並土曜学校担当(株)タジェール内 中村

TEL:03-5305-2773 FAX:03-5305-2774 http://www.jia-kanto.org/suginami/

今回の土曜学校では、サウンドスケープ研究の第一人者である鳥越けい子さんに、ご案内頂きながら、武蔵野の原風景が残る善福寺池周辺を歩きます。この地域は善福寺公園や井草八幡宮、東京女子大学のキャンパスに加え、畑や屋敷林も残り、杉並区のなかでも水と緑に恵まれた住宅地となっています。大正から昭和にかけて、地区整備に尽力した旧井荻村村長の内田秀五郎の偉業に触れながら、私たちに必要なのは何か、緑陰のみちをたどりながら、共に考えます。